



湧水の流れる小河川や清流に生息する。生息数は少なくない。メス あわら市産 全長:約12cm

コイ科 ヒメハヤ属

【全長】13cm

タカハヤ

学名: *Rhyncoocypris oxycephalus jouyi*

分布域

新潟県・神奈川県以西の本州・四国・九州に分布する。

生息域

河川の上流～中流域、水のきれいな小河川を好む。



前種のアブラハヤとよく似る。

近縁のアブラハヤと似る。鱗は小さく表皮内に隠れ体表面はヌルヌルする。アブラハヤと比較して、体側中央の暗色斑はまばらで縦条化せず、金色の縦条はない。尾柄部がやや太短く体形もややずんぐりする。尾鰭の切れ込みは弱い。眼はやや小さいく、頭部がやや縦扁する。見慣れると識別は容易。食性は雑食性で水生昆虫や付着藻類などを食べる。産卵期は晩春～初夏で、砂礫底にオス・メス集団で突入し産卵する。

水槽での飼育は容易。水槽の環境や人間にも慣れる。餌は配合飼料や冷凍赤虫を食べる。性格も比較的温和で、他種との混泳にも問題はない。夏季の極端な水温上昇は苦手で、注意が必要。

在来種

純淡水魚

※ 湧水の小河川など比較的上流域に多い。生息地は限られるが生息数は少なくない。同属のアブラハヤよりやや上流域に生息し、棲み分けが視られるが、同所的に生息する環境も視られる。